

毎月1日発行 平成3年1月25日第3種郵便物認可

発行人 清田 廣

編集人 菱田伊津美

購読料(送料共)年間3,000円1部50円

(会員の購読料は会費を含む)

社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番

TEL 072-959-2252 FAX 072-959-2632



定期総会6月30日(日)が間近です。後援会も今年度を振り返り中です。後援会の活動は重度ろう重複障害者、そして家族の思いから出発したことを忘れず一歩一歩前進したいと思えます。

### 家族会の取り組みから

(福) 大阪聴覚障害者福祉会・後援会

副会長 山本規行

大阪重複ろうあ者家族会の会長をしています。家族会は毎月第3月曜日にろうあ会館3階で役員会をしています。

現在の大きな課題の一つは、今年30周年を迎える「サマースクールと家族のつどい」

の準備です。30周年事業のひとつとして法人だより連載の家族の手記「家族はいつもいつまでも」、この集大成を本にまとめようと取り組んだところです。これまでに40以上の家族に寄稿頂きました。なんと7月28日のサマースクールに間に合わせたいと考えています。

今年の「家族のつどい」、午前中は今までのあゆみを振り返るスライドを企画をしています。建設運動を知らない、携わっていない人も多くなり、もう一度皆さんと歴史を振り返りたい、知ってもらいたいのです。

また、家族会は毎年、大阪府交渉に「移動支援・交通費補助」を要望しています。

現在ろう重複施設は、あいらぶ工房・ほくほく・堺市のほくほく作業所と地域が限られます。あいらぶも大阪市以外から通われる方が56名のうち19名です。残念ながら家族の送り迎えに「交通費補助」はなく、

私たちは通勤定期を買いいます。介添人と一緒の時は半額ですが、単独乗車はできません。送り迎えのお母さんが最寄り駅に送り家へ帰る時、夕方迎えに行く時も単独乗車なので実費負担です。送迎は肉体的、経済的にも負担が大きいのです。せめて学割並みの補助を、単独でも交通費補助を、と要望しています。

「移動支援」、ろう学校、通所施設に通うときも移動支援(ガイドヘルパー)は使えないため、家族が送迎をしなければなりません。他府県には通所・通学で移動支援を使える所もあります。移動支援は地域の支援事業なので各市町村で内容がバラバラです。大阪府内でも内容を統一し、ガイドヘルパー適用範囲の緩和をと交渉しています。長い要望になつていきますが地道にこれからも続けていきます。(4月23日運営委員会あいさつより)



# 障害者支援施設 **なかまの里** /グループホーム「やすらぎ」

〒590-0441 大阪府泉南郡熊取町大字久保 2329  
TEL 072-453-7545 FAX 072-453-7532

9年に及ぶ施設建設運動の結果、1994年4月1日に開所。「施設の主人公はなかま(利用者)」を合言葉に「いきいきとした豊かな暮らしと社会参加」を目指しています。



私たちの一年間の『愛』が詰まった募金箱♪

## 《なかまの里のチョット報告》

なかまの里では、五〇円募金のほかに泉州聴覚障害者センター(仮)開所を願い、職員みんなで一年間コツコツと募金を実施していました。三月二十八日(大安)これまでの成果を確認するときにきました。みんなが見守るなかいよいよ開封。募金箱いっぱい貯まった小さな『愛』は……なんと『三〇,〇〇〇円』。記念写真を撮って、全額『施設建設募金口座』へ入金させていただきました。泉州センターには、

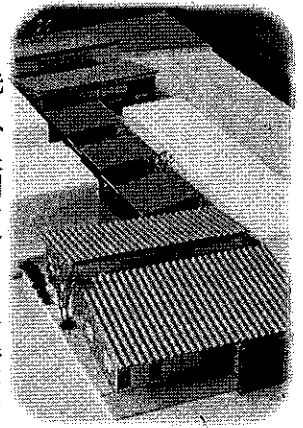


【記念撮影】  
センター開所にみんなの願いを込めて♪

のなかまがお世話になります。なかまも開所を心待ちにしています。そんななかまと過ぐす私たちが新しい施設の開所を楽しみにしています。これからも、私たちは泉州センター開所に向けて一丸となつて取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(なかまの里職員一同)

里の多数



先日、泉州センターを手がけて

ている設計事務所さんが模型を作ってくださいました。その模型をお借りして、なかまにお披露目しました♪模型を見たみんなは興味津々です。『ここにみなさん通います。ここが入り口、ここが作業をする部屋です』などと説明をすると、指を指して『良い、うれしい』というなかま、『楽しみ、ここで仕事を



ろはまた新鮮に見えるかもしれません。満開に咲いた花たちは、きつとなかまの通所を歓迎してくれることと思えます。(総務部)

頑張りたい』と話されるなかま。みんな模型を間近に覗き込み新しく開所するセンターをそれぞれが想い描き、夢を膨らませている様子でした。二〇二〇年四月、いよいよ一年後に開所を迎えなかまの期待はさらに高まっています。

## ★

……なかまの里の桜は今年もつぼみを膨らませました。なかまには見慣れた桜も、来年の今こ



母の日

絵: 時加 球

母の日

5月12日

母の日!

5月12日 母の日です。

＝あすくの里 特別養護老人ホーム/ショートステイ/デイサービス/ケアプランセンター＝

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番  
TEL 072-957-1764 FAX 072-957-1875

「あ：安心して す：健やかに く：暮らす」の願いを込め  
て2005年4月1日開所。入居者一人一人の願いや思いに寄り  
添った生活支援と介護を行っています。

『壁面装飾』

あすくの里の2階廊下に、機能訓練の一つとして1年前から季節ごとの壁飾りを入居者さんと一緒に制作しています。夏は水族館で涼しく、秋は色とりどりの紅葉、冬はかわいい雪だるま。そして、現在は春らしくユーリツプの花が満開です。

色を選ぶ、指先を動かす、季節を感じる、名前を書くなど、細かな作業の積み重ねですが皆さん楽しんで作ってくださいっています。そして、「今日仕事ありますか？」と声をかけてくれて折り紙を切ったり折ったりりの準備を手伝ってくれる頼もしい入居者さんもいらっしゃいます。



(医務部 青木)

さあ、夏はみんな何を作りましょうか？

『お花見！』

3月31日にショートステイの利用者さんとIBU(四天王寺大学)へお花見に行つてきました。

今年は桜の開花が早い！と聞いて予定していた日でしたが、3月末頃の寒の戻りで少し桜の開花が遅れており、実際に見に行くまで本当に咲いているのか？心配しながら行く事になりました。

どうかな？と思いつつ到着すると、キレイな桜のトンネルが出来てくれました！



ボランティアさんと合流し、中を案内して頂くと、まあ広い事！桜以外にも様々なお花があり、それらを見ながら散歩したり、写真を撮ったりしながら楽しみました。風が吹いたら冷た

く、寒さに耐えながらのお花見にはなりましたが、目の見えな方も桜に触れ笑顔になられ、皆で日本ならではの季節感を味わう事ができました。

(在宅部 森 結樹)

言わぬ花 学びの窓を 偲ぶ種

特養 植附 一郎

(続き) 現時点、食糧難事情問題が絡む状況下で、共産化の動向を重視されるマツカサー將軍が権力を奮って、トルーマン米大統領に大量の小麦援助要望を申し立て、その全てが実施された。お蔭で、パン・うどん・ラーメンなど産業振興に向け進むにつれて、経済発展にもつながった。

また、朝鮮戦争に使用された利品(トラック・ジープなどの故障・修理Ⅱ再利用)の下請け工場も・・・ようやく船舶・繊維を主に輸出される取引で、通貨を伴う為替で「米1ドルが日本円360円に等しい」価値として国内に流通し、預金利子付きも好調。企業も徐々に伸張して倍加しつつあって、その段、先行きを案ずる母親が、小生の成長と生計づくりに願いを込めて、母親の祖父生まれの本家近くにある大企業に就くのであった。

## ＝ あいらぶ工房 ろう重複障害者通所施設

〒552-0023 大阪府大阪市港区港晴1-7-4  
TEL 06-4395-7588 FAX 06-4395-7589

2007年4月1日、大阪市港区に開所。「ろう者のオアシスになってほしい!」という家族の言葉どおり、多くの人たちが集う場を目指しています。

### やりたい仕事は何だろう?

#### ～ 会社見学を通して ～

あいらぶ工房では、「会社に入りたいたい!」というなかまに対しての支援も行っています。今回、会社見学の機会を与えていただき、あいらぶ工房から2名のなかまが参加しました。その中の1名、倉田さん(仮名)について報告したいと思います。

倉田さんは、当初は『時間が守れない』『集中できない』『指示通り行動できない』と、就労支援の中でも非常に困難なケースでした。しかし、作業班の変更や就労支援担当職員と定期的な面談を繰り返す内に、「自分を変えてみたい!」という気持ちが生まれ、今では作業班の中でも欠かせない存在になりました。就労経験がなく、「会社」とい

うイメージもあまり持てておらず、「高い給料が欲しい。」「力があるので段ボールを運ぶ仕事がしたい。」という漠然とした目標を持っていました。作業技術は元々高かったです。倉田さん。少しずつ作業態度も改善されてきたという事で、今回会社見学に参加していただきました。

喜ぶ倉田さんに最初に立ちはだかった壁は、待ち合わせ時間でした。普段はあいらぶ工房の送迎バスで通所していますが、その送迎バスの時間も時々間に合わない事がある為、我々職員も本人も、時間通りに待ち合わせをする事ができるのか不安でした。当日は、予定時刻を2〜3分過ぎてしまいました。何とか間に合う事ができま

した。見学が始まると、倉田さんの表情が少しずつ険しくなっていました。細かい説明や次々と見学するスピードについていけなくなつた様子でした。倉田さんに分かりやすく要約すると、一気に表情が明るくなりました。倉田さんが希望していた、『物を運ぶ仕事』だったので、それが分かると、さっきまでの不安そうな様子はどこにいったのか、業務上持ち運ぶ必要のない重たい物を持つなど、自身の力をアピールしていました。見学が終わり、会社担当の方との懇談では、「休日はありませんか?」等々、積極的に質問もされていました。

今回倉田さんに対しては、『見学する事』が目標であった為、それ以上の事はありませんが、自分が希望しているような仕事があると分かつた反面、ただ運ぶだけでなく、決められた物を・決められた

場所に・決められた方法で運ぶ等、会社で仕事をする難しさを感じていただけたのかと思います。倉田さんには、もつともつと色々な会社見学をしていただき、『自分がやりたい仕事』だけでなく『自分に合った働き方』についても、一緒に考えていければ良いと思います。

(総括主任 住森智史)

5/11(土)

ベーカリーカフェ 12周年 感謝セール

※ 詳しくはチラシをご覧ください

皆様のお越しを  
お待ちしております!



# ほくほく 北摂聴覚障害者センター

〒564-0002 大阪府吹田市岸部中3-13-4  
TEL:06-6387-2015 FAX:06-6387-2100

2015年4月に吹田市に開所。北摂の聴覚障害者の  
願いで実現した聴覚障害者専門の通所施設です。  
愛称の「ほくほく」の通り暖かくて優しい気持ちにな  
れる地域に開かれた施設を目指しています。

## ほくほく新任職員のご挨拶

初めまして、会田洋子です。

体を動かす事が大好きで休  
みの日はハイキングに行ったりソ  
フトバレーをしたりしています。  
今は息子のサッカーの試合の応  
援にいくのが一番の楽しみです。

私のほくほくとのお出会いは、  
4年前、ほくほくが開所したそ  
の年の7月にボランティアの募  
集があり説明会に参加しました。  
すぐに「やってみたい!」と、登録  
をしてそれからボランティアとし  
てほくほくに通いました。



仲間の方々と一緒に作業を  
して、昼食の時や休憩時には、い  
ろんなお話をしてくれました。そ

れが楽しくて、楽しくて、私の生  
活の中で一番の癒される場所と  
なりました。

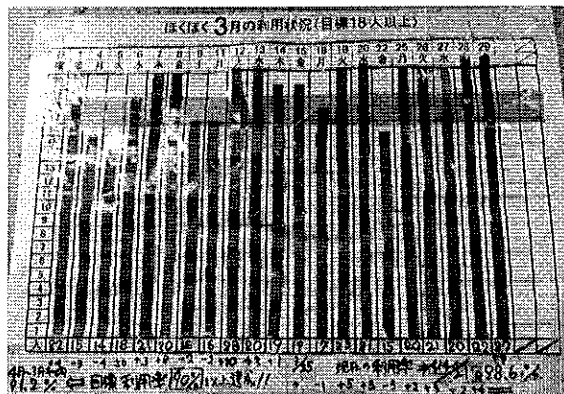
そのほくほくで今、私は働いて  
います。嬉しい気持ちでいっぱい  
その反面支援員というお仕事は  
これまでに経験がなく不安もい  
っぱいでした。けれど先輩職員の  
方々のサポートが大きく、また  
先輩方の働く姿が本当に素敵  
で私も早く一人前に仕事ができ  
るようになりたいと奮闘の毎日  
です。

たくさん経験を積んで学び、  
より良い支援ができるよう頑張  
つていきます。  
よろしくお祈りします!

## ほくほく2018年度の様子

4月〜3月の平均利用率は  
91.2%で、目標値の90%を達  
成できました。2017年度は  
85%の目標値に対して、87.  
3%でした。6月に北部地震が  
起きたり、冬に風邪やインフルエ  
ンザが流行り、特に1月〜2月

は各月84.3%と大名場にダウ  
ンしました。このままでは目標値  
を達成できないので、3月に壁に  
利用率を毎日棒グラフで貼りだ  
し、仲間にも協力を求めました。



毎朝の朝礼でも利用状況を報  
告し、職員も仲間にも寄り添った  
対応を心掛け、健康管理や生  
活相談等を丁寧に行いました。

その結果、3月に98.6%の  
利用率と成り、目標値をクリア  
できました。施設経営は利用率  
と大きく関わってきますが、仲間  
が主人公と成れる利用しやすい

環境と条件を職員がどう作っ  
ていくかが大切です。ボランティア  
さんは61名が登録し男性は4  
名、女性は57名でした。年間で  
延べ1181名ものボランティア  
さんがほくほくを支えて下さい  
ました。1日当たり4.7名のボ  
ランティアさんが仲間とともに作  
業されています。部屋の貸し出  
しは38回あり、述べ558名が  
利用されました。

## 西野桃子さんお疲れ様でした。

2018年4月から常勤嘱託  
として西野桃子さんが主に現場  
で1年間頑張って仲間の作業支  
援や送迎を担って来ましたが任  
期満了の為、残念ながら3月末



で退職されました。1年間いつ  
も笑顔での仲間にも寄り添った支  
援どうもありがとうございました。  
(センター長 小西 正)

## 手話言語条例 スタート前後

手話言語条例。可決されるまで道のりは長く、成立後も色々な取り組みが必要です。東大阪市、羽曳野市でも可決されました。また昨年12月に条例採択され、4月1日から施行の寝屋川市が現在を報告してくれました。

## 東大阪市みんなでトライする

## 手話言語推進条例

東大阪市身体障害者福祉協会

聴言部会 会長 伊藤芳子

今年3月28日（木）午後5時33分に東大阪市議会で「東大阪市民みんなでトライする手話言語推進条例」が可決されました。2016年に条例制定を求めて以来、市と準備を開始し、2017年2月から4回の意見交換会を経て、何度も協議し約3年かかりました。傍聴に16人（市内聴覚障害者12人、手話サークル4人）集まりました。

市議会最終日の本会議は3月28日の朝10時に行われる予定でしたが、その前のいくつかの委員会がなかなか終了せず、何時に始まるかわからない状況でした。事

務局に問い合わせ、午後4時頃からとわかり、急ぎよみんなに連絡し本庁ロビーに午後3時半集合、午後4時前に市役所21階の市議会前ロビーに移動して待機、午後4時50分に傍聴席に到着、すぐ



4月12日 市役所前で市長・議会議長・議員らと

に本会議がスタート。いくつかの意見を述べられ、午後5時半、手話言語条例は議案第1号で、他の議案とまとめて採決されました。わずか数秒、あっという間に終わった感じでした。

東大阪市は、ものづくり・ラグビーの町。花園ラグビー場は、9月に開催されるワールドカップの会場の1つです。東大阪市マスコットのトライ君と共に手話及びろう者に対する理解増進並びに手話の普及の施策を推進します。今年4月1日の施行、ここからが本当のスタートです。

## 形だけで終わらないよう対策

羽曳野市身体障害者福祉協議会  
ろうあ部会 会長 山本早紀子

3月26日（火）、羽曳野市議会本会議にて「羽曳野市手話言語条例」が採択されました。昨年9月に成立する予定が延び延びになつてしまい、約2年前から月1回の会議の積み重ねがあつたので、「やっと通ったか」という感じでした。手話サークルはばたき

の役員たちによく支えて頂きました。本会議が終了後、手を振ってくれた議員さんがおり、とてもうれしい限りです。そして、議員全員と一緒に写真を撮って下さりました。形だけで終わらないように、ろうあ者の生活に関わる諸問題に対策していけるようにと思えます。

## 寝屋川市手と手で心をつなぐ

## 手話言語条例に関する報告

寝屋川市聴力言語障害者部会

会長 笹川和廣

寝聴言部会（三役）は、2年前から障害福祉課と事務レベルの会合を3回、手話言語条例意見交換会を10回開き、重点事項や具体的な取組みについて討議しました。手話言語条例の条文等については、全国の条例と比較照合しながら条項を1つ1つ確認し慎重に進めてきました。

昨年9月上旬には障害福祉課による手話言語条例案（素案）の説明会が開かれ、寝聴言部会だけでなく他団体からも多くの参加があ

りました(寝聴言部会11名、手話サークル「やまびこ」(夜の部)6名、手話サークル「勉強会」10名)。

9月下旬に寝屋川市がパブリックコメントを募集した結果、26名より64件意見が集まり、12月18日の本議会で「手と手で心をつなぐ手話言語条例」が採決され、2019年4月1日に施行する運びとなりました。寝屋川市は、条例の制定に向けて、職員対象に手話研修会を2月8日と2月15日2回開き、手話講師の依頼があり寝聴言部会から、ろう講師を2名派遣しました。結果、大変好評であったと福祉課と人事部から声を頂きました。

2019年度がスタートする際に、寝屋川市役所の新入職員を対象に、4月中旬に2回手話研修会を実施することが決定し、手話講師を2名派遣しました。今後多方向に展開する手話研修会や手話イベントに、ろう講師の派遣が増える予想されるため、ろう講師の人材育成が私たちの急務の課題です。

**法人後援会は会員一人ひとりに支えられています**

2019年度会員 4/8現在

ブロック	個人(ろう)	個人(健聴)	団体
大阪市	24	52	4
北摂	8	31	2
京阪	9	16	3
河内	11	26	2
泉州	17	31	3
その他	5	22	0
小計	74	178	14
合計	252		266

●2019年度の入会手続きはお済ですか。個人会員1500名を目標に毎年がんばっています。なかまが豊かに暮らせる施設の支援にご協力をお願いします。皆様、早目の継続をお願い致します。

**2019年度後援会会員手続きを下さった方**

- |        |        |        |          |                   |        |
|--------|--------|--------|----------|-------------------|--------|
| 明石 真由美 | 小 椋 隆史 | 坂井 美恵子 | 辻 恵子     | 古田 裕子             | 安岡 弓美子 |
| 赤坂 佳子  | 落合 まゆみ | 坂本 久美  | 土屋 敬恵    | 牧 豊               | 山内 美加子 |
| 石田 千佳子 | 垣内 恵美子 | 佐々木 美恵 | 鶴羽 清昭    | 益田 美保             | 山口 有貴子 |
| 石塚 加津子 | 川上 由紀  | 塩路 貴子  | 寺山 妙子    | 三品 喜代美            | 山口 由利子 |
| 伊藤 芳子  | 川上 陽子  | 嶋川 淳子  | 土井 二美    | 溝上 百合子            | 山本 ゆかり |
| 井上 洋子  | 川崎 裕子  | 清水 邦恵  | 富川 みちる   | 道添 洋子             | 吉井 清美  |
| 井上 紀子  | 川村 龍彦  | 社納 奈良子 | 中谷 恵理子   | 宮里 春美             | 吉田 礼子  |
| 今西 智美  | 岸田 和代  | 神村 寿郎  | 中野 富美雄   | 宮澤 眞知子            | 若竹 澄子  |
| 今西 伸行  | 北川 綾子  | 杉本 好美  | 中村 京子    | 守口 和之             | 渡邊 小巻  |
| 妹背 眞佐子 | 北川 美鈴  | 杉本 重子  | 永山 奈津子   | 八木 淳              | 渡辺 義彦  |
| 入木田 雅代 | 北村 茂   | 鈴木 尚美  | 鍋島 里美    | 安井 文              |        |
| 上田 邦子  | 木下 和人  | 鈴木 多美子 | 西岡 恵子    |                   |        |
| 植附 一郎  | 木村 由美  | 高野 由賀利 | 西川 節     |                   |        |
| 上野 ふさ枝 | 葛迫 直人  | 高山 恵子  | 西下勝美・節子  | 旭区聴言障害者協会         |        |
| 漆地 保男  | 楠田 睦子  | 滝川 智子  | 西滝 憲彦    | 四條畷市身体障害者福祉会ろうあ部会 |        |
| 大石 孝司  | 倉田 寿美  | 滝元 悦子  | 沼 順子     | 大通研泉州ブロック         |        |
| 大都 恵子  | 栗田 淳子  | 竹尾 勝美  | 野村 茂     | 泉南市聴言障害者部会        |        |
| 岡田 直美  | 小泉 佳史  | 竹口 恵子  | 林 やよい    | 高槻市聴力障害者協会        |        |
| 岡野 昭代  | 香村 篤子  | 竹口 佳子  | 原崎 純子    | 手話サークル竹とんぼ        |        |
| 岡部 恵子  | 古瀬 常實  | 竹嶋 香絵  | 日高 清子    | 八尾市手話サークルどんぐり     |        |
| 小川 寿一  | 古瀬 百合子 | 田中 真彩  | 日根野谷 みゆき | 枚方手話サークルひまわり      |        |
| 沖野 順子  | 小西 正   | 田中 由美  | 平山 景子    | 都島区聴言障害者協会        |        |
| 小椋 高子  | 才門 宏平  | 谷 敬子   | 廣岡 愛     | 手話サークルもくもく会       |        |

「ご」寄付

3月1日～3月31日の間に次の方々より「ご」寄付を頂きました。どうもありがとうございました。

神野和子様、あいらぶ家族会様、イオンリテール株式会社吹田店様、中村克巳様、スポレク協会様、大通研大阪市ブロック様、泉佐野市聴言障害者部会様、手話サークルいちよう様、交野手話「さつき」様、京阪地区聴力障害者協会女性部様、京阪地区聴力障害者協会高齢部・女性部・青年部様、公益社団法人大阪聴力障害者協会様、匿名様8名

【なかまの里・物品寄贈】  
匿名様（はつき）、西川修一郎様（かぶ、水菜、大根）、棟近恵様（蚊取り線香）、岡本株式会社様（くつ下）

【あすくの里・物品寄贈】  
吉元武志様・吉元智也子様（五月人形・ひな人形）、匿名様（夏みかん）

【あいらぶ工房・物品寄贈】  
上野ふさ枝様（米）

※公益社団法人大阪聴力障害者協会様から泉州聴覚障害者センター建設資金として1000万円「ご」寄付いただきました。

2019 5月 May.

法人後援会

13月	幹事会
20月	家族役員会
23木	サマースクールと家族のつどい実行委員会
28火	運営委員会
7金	法人だより6月号発送作業

あいらぶ工房

1水	開所日（ペーカリーカフェ休業日）
2木	開所日（ペーカリーカフェ休業日）
8水	労働相談
10金	なかま給料日
11土	開所日、家族会総会 ペーカリーカフェ12周年感謝セール
13月	健康チェック
16木	宿泊訓練
25土	開所日（ペーカリーカフェ営業日）
27月	あいらぶフレンズ役員会
31金	誕生日会

ほくほく

1水	開所日・テレビ鑑賞（職員手話通訳付）
2木	開所日（予定：手作りカレーの日）
3金	休所日（～5/8）
15水	工賃支給日
17金	仲間誕生会
24金	職員会議（午前のみ開所）

あすくの里

1水	端午の節句行事食
2木	マッサージ
6月	喫茶店
8水	絵手紙教室
9木	マッサージ
10金	書道クラブ、ワゴン販売
12日	母の日買い物行事
13月	喫茶店、編物クラブ
16木	マッサージ
17金	デイサービス制作
20月	喫茶店、ボランティア懇談会 デイサービス制作
21火	散髪、デイサービスおやつ作り
22水	絵手紙教室
24金	華道クラブ、デイサービスリハビリハイキング
27月	喫茶店
備考	デイサービス毎週日曜休み

法人事務所

6月	事務所休業日（4/27～）
25土	2020年度職員採用面接試験 理事会（決算・事業報告）13-17
26日	法人就職説明会13-16あすくの里
備考	土曜日・日曜日・祝日は事務所休業日

なかまの里

2木	カウンセリング、たまねぎサークル缶回収
4土	シーツ交換
8水	全体会、ひまわりサークルとの交流
10金	ふれあいの役員会
11土	劇団さくら練習
13月	GHなかま会議
15水	なかま作業会議、いちようサークルとの交流
16木	誕生日会、たまねぎサークル缶回収
17金	夕食会
18土	シーツ交換、いずみサークル缶回収
20月	飛行機グループ取組み
21火	髪や
24金	工賃日ガルボ
25土	劇団さくら練習
27月	やじろべえ缶回収

発送作業いつも  
ありがとうございます

法人事務所移転に伴い「法人だより」発送作業は谷町福祉センターで行っています。ぜひご都合の良い時間だけでもお手伝い頂くと嬉しいです。

6月号発送作業日は

6月7日（金）18：00～21：00

※16：00頃から作業があります。

金曜日で完了を目指して頑張っています。

ご協力をお願い致します。（編集部）

4月号発送作業をお手伝い頂いた方々  
（敬称略）

3月29日（金）

玉置大、玉置義夫、倉田寿美、上田妙子  
安川清子、杉本好美

（宛名準備）牧和子